

第一九回村落社会研究会総会報告

一〇月一三日午後五時三〇分より川越淳二会員を座長に第一九回総会を開催しました。以下はその議事報告です。

一、事務局報告——事務局および運営委員会の年度中の活動について報告。承認された。

一、編集委員会報告——柿崎京一編集委員より、年報第七集の編

集と刊行および村落社会調査研究叢書第二集の刊行について報告。

一、会計中間報告——昭和四五年一月以降大会前までの会計の概要について報告。承認された。なお、会計報告年度のありかたについて、大会前の適当な時期で年度を切り、大会では中間報告でなく最終的な決算報告をおこない、その承認を求めるところの可否について質問があり、次期事務局においてその点の可否を検討することとされた。

一、次年度共通課題の件——大会終了時までには、事務局に会員より希望を提案することを確認。(なお、一四日の運営・編集委員会では会員からの若干の提案について検討されたが、一四日の大会で、さらに会員からの提案を募り、大会後の委員会で検討することとなった)。

一、次期事務局の件——次期事務局を白梅学園短大(民秋言会員にお願ひすることとし、民秋会員よりお引受戴く旨の挨拶があった)。

一、次期大会開催地の件——柿崎京一会員に適当な場所の選定および会場設営についてお願ひすることとなった。

(前事務局・安原記)